

令和元年度 事業報告書類

I 事業の実施状況

公1 技術振興事業

公2 地域産業活性化事業

その他事業

II 庶務事項

平成31年 4月 1日から

令和 2年 3月31日まで

I 事業の実施状況

【公益目的事業】

公 1 技術振興事業

1. 技術者等育成事業

(1) 技術研修事業

地域企業のものづくり基盤技術の高度化に資する人材を育成するため、設備の保全管理・電気制御等、基盤技術の習得に必要な研修等への参加支援を実施した。(131 名受講)

種 類	研 修 名 称 等	実施日	実施場所	受講 者数
技 能 検 定 対 策	検定〔実技〕対策 NC旋盤作業1・2級	R1. 6. 15～16	北海道 ^ホ リテクカレッジ ^ヰ	2名
	検定〔実技〕対策 機械保全電気系保全作業	R1. 10. 17～18	苫小牧市テクノセンター	5名
	検定〔実技〕対策 機械系保全作業1・2級	R1. 11. 7～8	苫小牧市テクノセンター	7名
	検定〔実技〕対策 機械検査作業実技1・2級	R1. 11. 7～8	苫小牧市テクノセンター	4名
	検定〔実技〕対策 特級（全職種）Ⅰ	R1. 12. 5～6	苫小牧市テクノセンター	3名
	検定〔実技〕対策 特級（全職種）Ⅱ	R1. 12. 12～13	苫小牧市テクノセンター	3名
機 械 系	精密測定技術	H31. 4. 11～12	北海道 ^ホ リテクカレッジ ^ヰ	2名
	精密測定技術	R1. 6. 3～4	苫小牧市テクノセンター	2名
	生産現場の機械保全技術	R1. 6. 4～5	北海道 ^ホ リテクカレッジ ^ヰ	5名
	旋盤加工技術	R1. 6. 5～7	北海道 ^ホ リテクカレッジ ^ヰ	3名
	機械組立仕上げのテクニック	R1. 6. 18～19	北海道 ^ホ リテクカレッジ ^ヰ	3名
	切削加工を考慮した機械設計製図	R1. 6. 26～27	北海道 ^ホ リテクカレッジ ^ヰ	8名
	実践機械製図（基礎製図コース）	R1. 6. 27～28	苫小牧市テクノセンター	1名

機 械 系	生産現場で使う品質管理技法	R1. 7. 2～3	苫小牧市テクノセンター	2名
	2次元C A Dによる機械製図技術	R1. 7. 9～11	ポ ^ロ リテクセンター北海道	1名
	機械加工技術（旋盤）	R1. 7. 10～11	北海道ポ ^ロ リテクカレッジ	1名
	機械設計のための総合力学	R1. 7. 10～12	北海道ポ ^ロ リテクカレッジ	3名
	空気圧回路設計実践技術	R1. 7. 24～25	北海道ポ ^ロ リテクカレッジ	1名
	機械加工技術（フライス盤）	R1. 7. 24～25	北海道ポ ^ロ リテクカレッジ	1名
	フライス盤加工技術	R1. 7. 24～26	北海道ポ ^ロ リテクカレッジ	1名
	生産現場の機械保全技術（分解・組立編）	R1. 8. 1～2	北海道ポ ^ロ リテクカレッジ	1名
	生産設備管理技術（振動診断）	R1. 9. 26～27	北海道ポ ^ロ リテクカレッジ	3名
	精密形状・測定技術	R1. 10. 1～2	北海道ポ ^ロ リテクカレッジ	1名
	被覆アーク溶接技能クリニック	R1. 10. 10～11	ポ ^ロ リテクセンター北海道	5名
	マシニングセンタ加工技術	R1. 10. 14～19	ポ ^ロ リテクセンター北海道	1名
	半自動アーク溶接技能クリニック	R1. 10. 17～18	ポ ^ロ リテクセンター北海道	1名
	油圧実践技術	R1. 10. 23～24	苫小牧市テクノセンター	1名
	実践機械製図	R1. 10. 23～25	北海道ポ ^ロ リテクカレッジ	2名
	T I G溶接技能クリニック	R1. 10. 24～25	ポ ^ロ リテクセンター北海道	5名
	フライス盤加工技術	R1. 10. 29～30	ポ ^ロ リテクセンター北海道	1名
	2次元C A Dによる機械製図技術	R1. 10. 29～31	ポ ^ロ リテクセンター北海道	2名
	油圧実践技術	R1. 11. 14～15	ポ ^ロ リテクセンター北海道	5名
	人間工学を活用した新製品開発	R1. 11. 14～15	北海道ポ ^ロ リテクカレッジ	1名
	旋盤加工技術	R1. 11. 26～28	ポ ^ロ リテクセンター北海道	1名
	N C旋盤加工技術	R1. 12. 11～12	ポ ^ロ リテクセンター北海道	1名

機 械 系	被覆アーク溶接技能クリニック	R1. 12. 12～13	ホ ^レ リテクセンター北海道	1名
	N C旋盤加工技術	R1. 12. 18～20	北海道ホ ^レ リテクカレッジ	1名
	フライス盤加工応用技術	R1. 12. 24～26	北海道ホ ^レ リテクカレッジ	1名
	精密測定技術	R2. 1. 16～17	ホ ^レ リテクセンター北海道	1名
	機械設計のための総合力学	R2. 1. 22～24	北海道ホ ^レ リテクカレッジ	1名
	切削加工の理論と実際	R2. 1. 30～31	北海道ホ ^レ リテクカレッジ	1名
電 気 ・ 電 子 系	デジタル回路設計技術（ロジック I C編）	R1. 5. 15～16	北海道ホ ^レ リテクカレッジ	1名
	トランジスタ回路の設計・評価技術	R1. 5. 28～29	北海道ホ ^レ リテクカレッジ	2名
	シーケンス制御による電動機制御技術	R1. 6. 13～14	ホ ^レ リテクセンター北海道	1名
	P L Cによるタッチパネル活用技術	R1. 6. 13～14	北海道ホ ^レ リテクカレッジ	1名
	配電制御機器選定と省エネルギー対策	R1. 6. 27～28	北海道ホ ^レ リテクカレッジ	1名
	遠隔監視・計測システム開発	R1. 7. 8～9	北海道ホ ^レ リテクカレッジ	1名
	P L C制御応用技術	R1. 7. 9～10	北海道ホ ^レ リテクカレッジ	3名
	プリント基板設計技術	R1. 8. 1～2	北海道ホ ^レ リテクカレッジ	1名
	電気系保全実践技術	R1. 8. 5～7	北海道ホ ^レ リテクカレッジ	1名
	P L Cプログラミング技術（配線と操作法）	R1. 8. 20～21	ホ ^レ リテクセンター北海道	1名
	P L Cプログラミング技術（制御プログラム設計）	R1. 8. 27～28	ホ ^レ リテクセンター北海道	1名
	P L C制御応用技術	R1. 9. 3～4	ホ ^レ リテクセンター北海道	1名
	デジタル回路設計技術	R1. 9. 26～27	北海道ホ ^レ リテクカレッジ	1名
	P L Cによるインバーター制御技術	R1. 10. 8～9	北海道ホ ^レ リテクカレッジ	1名
	プリント基板設計技術	R1. 10. 10～11	北海道ホ ^レ リテクカレッジ	2名
	シーケンス制御による電動機制御技術	R1. 10. 24～25	北海道ホ ^レ リテクカレッジ	1名

電 気 ・ 電 子 系	P L C制御による位置決め制御技術	R1. 11. 6～7	北海道ホリテカレッジ	2名
	ホバリング回路の設計・評価技術(回路実験編)	R1. 11. 7～8	北海道ホリテカレッジ	1名
	I O T機器を活用した組込みシステム開発技術	R1. 11. 20～22	ホリテセンター北海道	2名
	デジタル回路設計技術（ロジック I C編）	R1. 11. 21～22	北海道ホリテカレッジ	1名
	電気系保全実践技術（P L C編）	R1. 11. 28～29	北海道ホリテカレッジ	1名
	低圧電気設備の保守点検技術	R1. 12. 5～6	ホリテセンター北海道	2名
	P L Cによるタッチパネル活用技術	R1. 12. 18～19	北海道ホリテカレッジ	1名
	有接点シーケンス制御の実践技術	R2. 1. 7～8	ホリテセンター北海道	5名
	遠隔監視・計測システム開発	R2. 1. 28～29	北海道ホリテカレッジ	1名

（２）技術人材研修助成事業

地域内企業の研究者や技術者が、高度技術の研究開発に取り組むため、大学・企業等における研究・研修機関で実施する研究会等に参加する場合の経費の一部を助成した。

名 称 等	実施日	実施場所	実施内容等	参加人数
JIS 品質管理責任者セミナー 専修科コース	R1. 6. 18～8. 30	札幌市	一般社団法人 日本規格協会主催の「JIS 品質管理責任者セミナー 専修科コース」を受講し、資格取得	1名

２．研究開発事業

（１）新技術・新製品開発助成事業

企業等の技術開発・生産技術の促進を図るため、新技術・新製品等の開発、試作品の製造及び生産工程の合理化・高度化等に要する経費の一部を助成した。

対 象 者	事 業 名	助成額
(株)アタカ造船所	小型造船設計の CAE 利用による技術の高度化と生産性向上を図る	1,500 千円
(株)Die Kraft(クラフト)	容器反転機の高品質・高性能化による競争力強化と市場拡大	1,374 千円
(株)OTis (オーティス)	地域密着型のウェブアプリによる新たな広告宣伝技術の開発	1,352 千円
(株)エルス	「間」をなぞるユーザインタフェースを活用したタッチパネルユニットの開発	1,500 千円

(2) 技術開発の芽育成助成事業

課題解決のための試作完了までの基礎調査、情報収集及び開発検討に要する経費の一部を助成した。

対 象 者	事 業 名	助成額
北海道中央葡萄酒(株)	国産フレーバードワインの試作開発事業	500 千円
リスボン	冷凍スープカレーの商品化	500 千円
“Shikagawa Musical Instruments”	北海道産材ギターブランド創設のための試作開発	500 千円
(株)タナカコンサルタント	ICT による立木調査のサポートシステムの開発	456 千円

3. 技術高度化事業

(1) 産業力強化支援事業

ものづくり基盤技術の高度化を図るため、圏域企業の経営動向を掌握し、技術相談や各種支援制度の相談、支援等のコーディネート活動を実施した。

圏域企業への訪問等延べ 378 件

(2) 苫小牧地域産業力強化事業（苫小牧市補助事業）

苫小牧地域の技術高度化や技術開発の促進を図るため、苫小牧商工会議所と連携を図りながら、立地企業との連携や交流活動を推進し、地域産業力強化に向けた支援を行った。

①地域産業支援事業

名 称 等	実施日	実 施 内 容
・ 事業周知活動	H31. 4. ～	財団事業周知用パンフレット等の作成・配布及び企業訪問、ホームページ等による周知活動を実施 「産業支援事業」説明会開催(苫小牧市、苫小牧地域産学官金連携実行委員会との共催) (参加企業 10 社) 技術開発、製品開発、サービス開発等を計画する事業者に対する情報提供、相談受付、専門機関への取次ぎ等の各種支援を実施
・ 産業支援事業説明会	H31. 4. 26	
・ 産業支援（情報提供・相談等）	H31. 4. ～	

②苫小牧地域産学官金連携事業

名 称 等	実施日	実 施 内 容
・ 講演会	R1. 9. 20 R1. 11. 12	講演会「下町ロケットに学ぶ中小企業の経営戦略」 セミナー「活かせ地域資源」 実行委員会 総会
・ 諸会議	R1. 6. 5	
	R1. 6. 12	

(3) 地域企業生産性向上事業（北海道補助事業）

北海道のものづくりの基幹産業である自動車関連産業を主体とし、食関連産業、IT関連産業を含めたものづくり産業の生産性の効率化や技術力の向上、人材育成・確保などを進めていくため、企業訪問等を行い、ニーズ・課題の把握や指導相談の実施、技術調査、技術研修、現場指導等を実施した。

企業訪問、研修、指導等 延べ 134 件

公2 地域産業活性化事業

1. 経営支援事業

(1) 経営管理支援事業

企業等の経営力の向上を図るため、人事・労務等の実務、会計処理等の実務についてのセミナーを開催した。

名 称 等	実施日	実施場所	講 師 等	参加人数
経営管理セミナー 「働き方改革と人材確保」	R1. 10. 18	千歳アルカデ ィア・プラザ	北海道働き方改革推進支援セ ンター専門コンサルタント 根岸暢子氏、澤井利之氏	36 名

(2) 市場拡大等支援事業

製造業等を営む中小企業者が、国内で開催される各種展示商談会への出展を通じて、市場拡大及び販路開拓等の機会を確保するため、出展に要する経費の一部を助成した。

① ビジネスE X P O第33回北海道 技術・ビジネス交流会

会 期 令和元年 11 月 7 日・8 日
会 場 アクセスサッポロ（札幌市）
入場者数 21,703 名
出展企業 8 企業・団体の出展を助成
苫小牧市：J X金属苫小牧ケミカル(株)、北海道曹達(株)
苫小牧発明研究会、(株)電気工事西川組、みさち工房
千 歳 市：(株)エルス
恵 庭 市：(株)岡田建具製作所
安 平 町：北のなのはな会

② 第53回スーパーマーケット・トレードショー2020

会 期 令和2年2月12日～14日
会 場 幕張メッセ(国際展示場9-11ホール)
入場者数 80,428 名
出展企業 6 企業の出展を助成
千 歳 市：岩田醸造(株)、(有)肉の山本、(株)箱根牧場、
北海道ニッツウサービス(株)、(株)もりもと
恵 庭 市：(株)ほんま

2. 製品開発支援事業

(1) 製品開発助成事業

産業化への応用等の開発事業、市場化への可能性等の開発事業を行った企業等に対し、製品開発経費の一部を助成した。

対 象 者	事 業 名	助成額
(株)一休製麺	低糖質韃靼そば「さらり」の販売拡大に向けた、冷凍麺開発及び品質向上に関する技術開発事業	822 千円

(2) 地域資源活用助成事業

道央地域の豊富な産業資源を活用した製品開発の促進を図るため、付加価値の高い新製品、新商品の開発を行った企業等に対し、製品開発経費の一部を助成した。

対 象 者	事 業 名	助成額
(株)苫小牧オートリゾート	ゆのみの湯 温泉の素 開発事業	184 千円

(3) 地域ものづくり助成事業

道央地域で生産される農水産品等の素材を原料に、新製品・新商品開発を行った企業等に対し、製品開発経費の一部を助成した。

対 象 者	事 業 名	助成額
国立公園支笏湖運営協議会	「支笏湖チップ」を活用した新製品開発	186 千円

3. 地域産業活性化事業

(1) 地域の「人材」と「技術」を繋ぐネットワーク活動への支援

地域の活性化を図るため、地域の「人材」と「技術」を繋ぐネットワークによるものづくり等の研修・研究活動、ものづくりに関わる人材を育てる活動等を支援するとともに、事業等経費の一部を助成した。

対 象 者	事 業 名	助成額
安平町誘致企業会	経済セミナー（北海道の明日を創る）	100 千円
苫小牧発明研究会	自然と遊ぼう！エコ遊び！発明&デザイン「地域宝おこし」	100 千円
国立公園支笏湖運営協議会	「支笏湖チップ」を活用した新商品（トバ）の開発	100 千円

【その他事業】

苫小牧市テクノセンター管理運営事業

苫小牧市委託事業として、苫小牧市テクノセンター利用許可申請書等の受付業務、使用料等の徴収業務、経理事務等の業務を実施した。

Ⅱ 庶務事項

1. 理事会

第1回

決議があったものとみなされた日	平成31年4月9日
審議事項	① 評議員会に提案する理事候補者について ② 評議員会に提案する評議員候補者について ③ 評議員会開催について
結 果	すべての理事から同意表示があり、監事からの異議申し立ても無く、可決した。

第2回

開 催 日	令和元年5月13日
場 所	苫小牧市テクノセンター
出席者数	13名（理事11名、監事2名）
審議事項	① 平成30年度事業報告及び収支決算について ② 定時評議員会招集の件
報告事項	理事長、専務理事の職務執行の状況について
結 果	すべての議案について、原案のとおり可決した。

第3回

決議があったものとみなされた日	令和元年6月11日
審議事項	① 評議員会に提案する理事候補者について ② 評議員会に提案する評議員候補者について ③ 評議員会開催について
結 果	すべての理事から同意表示があり、監事からの異議申し立ても無く、可決した。

第4回

決議があったものとみなされた日	令和元年6月28日
審議事項	① 先端技術の導入支援等による地域企業生産性向上事業交付申請の件 ② 平成31年度第1回補正予算について ③ 評議員会に提案する評議員候補者について ④ 評議員会に提案する監事候補者について ⑤ 評議員会開催について
結 果	すべての理事から同意表示があり、監事からの異議申し立ても無く、可決した。

第5回

決議があったものとみなされた日	令和元年10月8日
審議事項	① 評議員会に提案する理事候補者について ② 評議員会に提案する評議員候補者について ③ 評議員会開催について
結 果	すべての理事から同意表示があり、監事からの異議申し立ても無く、可決した。

第6回

開催日	令和2年3月26日
場所	苫小牧市テクノセンター
出席者数	11名（理事9名、監事2名）
審議事項	① 令和元年度第2回補正予算について ② 令和2年度事業計画及び収支予算について ③ 就業規程の一部改正について ④ 給与規程の一部改正について
報告事項	理事長、専務理事の職務執行の状況について
結果	すべての議案について、原案のとおり可決した。

2. 評議員会

第1回

決議があったものとみなされた日	平成31年4月17日
審議事項	① 理事選任の件 ② 評議員選任の件
結果	すべての評議員から同意表示があり、可決した。

第2回

開催日	令和元年5月31日
場所	苫小牧市テクノセンター
出席者数	10名
審議事項	① 議事録署名人の選出について ② 平成30年度事業報告の件 ③ 平成30年度収支決算承認の件
結果	すべての議案について、原案のとおり可決した。

第3回

決議があったものとみなされた日	令和元年6月19日
審議事項	① 理事選任の件 ② 評議員選任の件
結果	すべての評議員から同意表示があり、可決した。

第4回

決議があったものとみなされた日	令和元年7月5日
審議事項	① 評議員選任の件 ② 監事選任の件
結果	すべての評議員から同意表示があり、可決した。

第5回

決議があったものとみなされた日	令和元年10月17日
審議事項	① 理事選任の件 ② 評議員選任の件
結果	すべての評議員から同意表示があり、可決した。